

【ワールドカップ° 日本×ギリシャ戦】 視聴者の感情推移

～テキストマイニングを用いたツイッター分析～



株式会社ジャパン・マーケティング・エージェンシー

2014/6/27

0. 調査概要

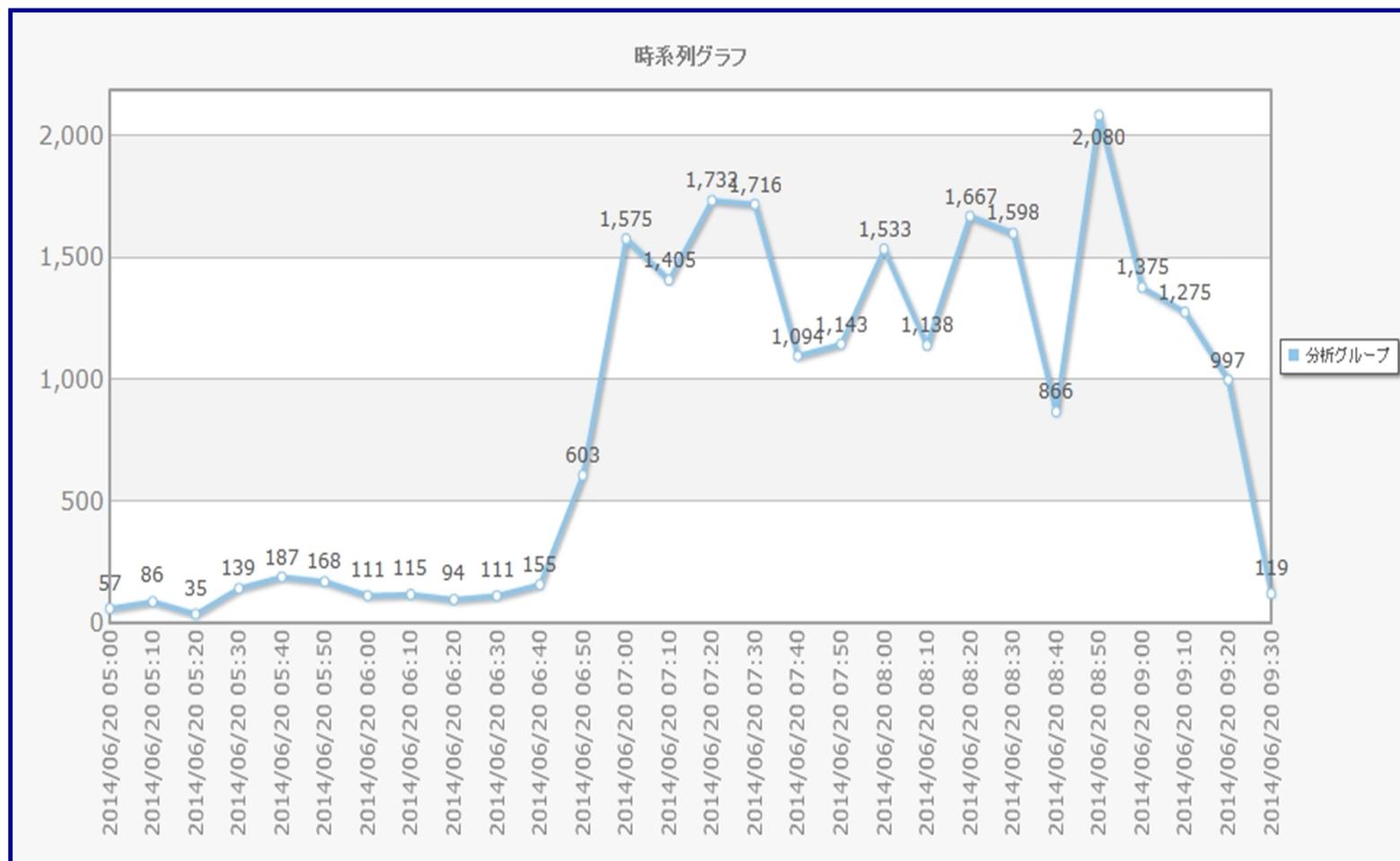
- ◆調査目的 【ワールドカップ 日本×ギリシャ戦】において、ソーシャルメディア上でどのような書き込みがされているのかをテキストマイニングソフトを使って探る。
- ◆分析対象データ 「#ワールドカップ」という文字列を含むツイッター。
ただし公式および非公式のリツイートは対象から除外した。
- ◆対象期間 2014/6/20 5:00~9:30
- ◆データ数 23,147件
- ◆分析ソフト 『見える化エンジン』
（株式会社プラスアルファコンサルティング）

I. 結果のまとめ

- ◆ 試合内容に沿って、リアルタイムでツイートされており、ツイッターを使ってイベントを共有する楽しさが浸透している → 4 p
- ◆ 試合終了直後を除いて、全体的にはポジティブ表現がネガティブ表現を上回っている → 5 p
- ◆ 試合終了直後には結果に対する不満もあったが、次の試合に向けて気持ちを切り替える様子が見られる → 6 p
- ◆ ツイート内容を「応援」「賞賛」「不満」の3つで見ると、「不満」は少なく、試合の流れに呼応して「応援」「賞賛」のツイートが多くを占めている → 8 p
- ◆ 選手の中では香川選手への言及が最も多い → 9 p
- ◆ 大迫の活躍が強く印象に残っている → 11、12 p

Ⅱ. 全体傾向把握 一時系列推移

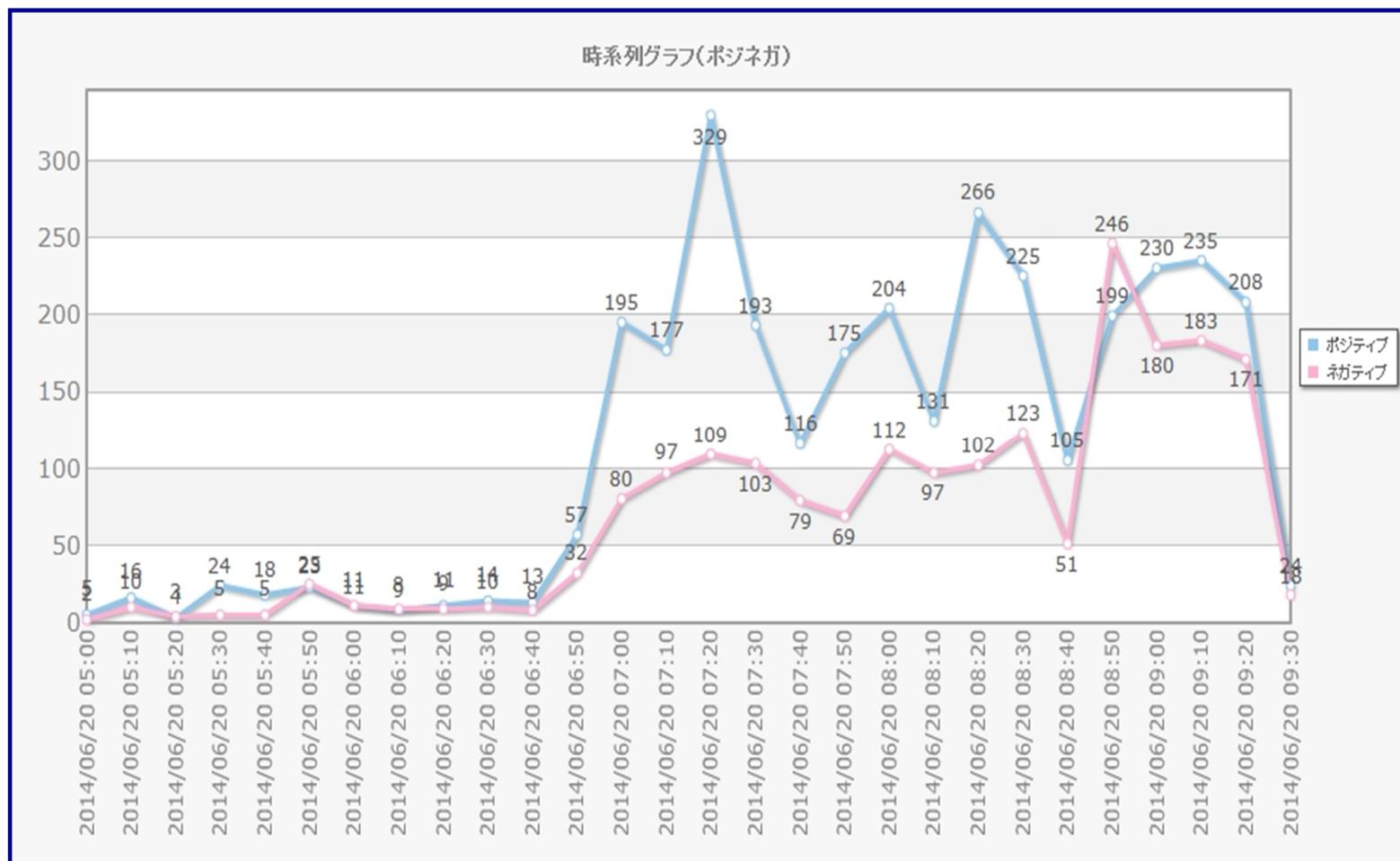
- ◆ 試合開始直前の午前 6 時 50 分ごろから急激にツイート数が増加。試合中は増減を繰り返しながら、終了直後にピークを迎える。
- ◆ 試合終了後は速やかにツイート数が減少。試合と連動し、起こった事柄をリアルタイムでツイートしていたことがわかる。



Ⅱ. 全体傾向把握 – ポジネガの時系列推移①

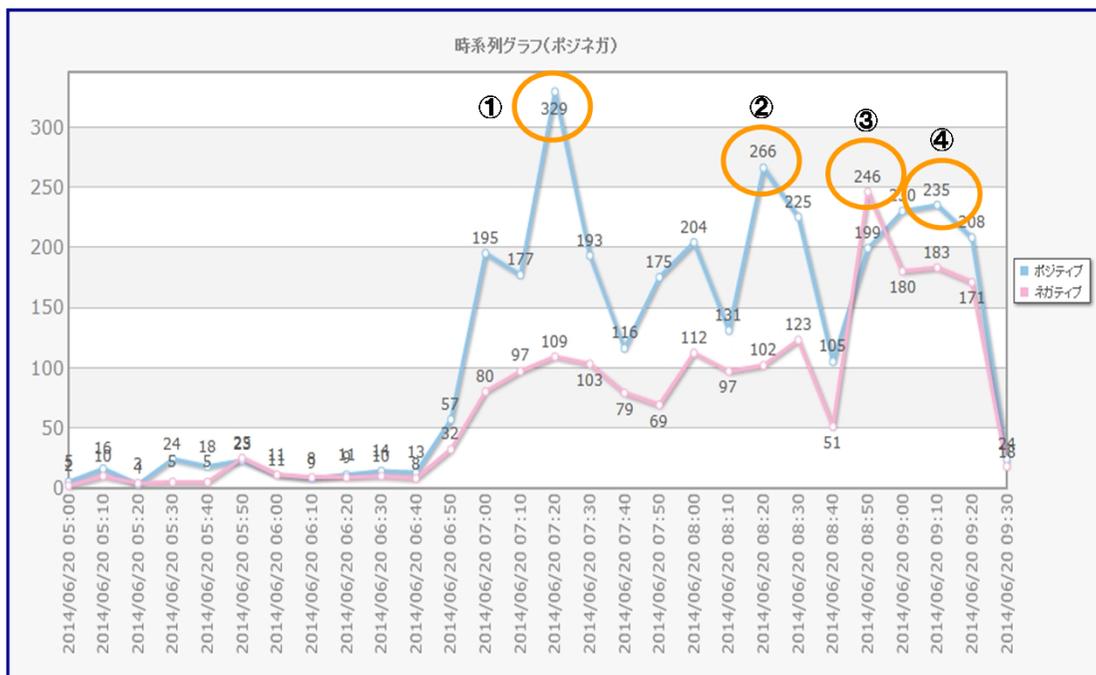
◆ 全体的にポジティブ表現がネガティブ表現を上回っているが、試合終了直後のみ、ネガティブ表現が若干上回った。

※「良い」「応援する」「盛り上がる」「惜しい」「すごい」などの言葉をポジティブ、
「負ける」「駄目だ」「悪い」「悔しい」「残念だ」「悲しい」などの言葉をネガティブと定義



Ⅱ. 全体傾向把握 – ポジネガの時系列推移②

- ◆ 局所的なピークの4か所について原文を見てみると、①と②は試合中の好プレーについてのツイートが見られた。試合直後(③)では、スコアレスドローに終わってガッカリした書き込みが多数を占めた。
- ◆ 試合終了からしばらくすると、よかったプレーを振り返ったり、気持ちを切り替えて次の試合に向けて頑張ろうという書き込みが増加した。



※グラフは前頁と同一

①大迫の惜しいシュート

「惜しいよお…大迫さんの動きかなりいい＼(^o^)/」
 「大迫ー！惜しかった！」
 「おいしい！いいシュートだった」

②香川や川島などの好プレー

「いいぞいいぞ。かがわさん！」
 「今日の香川はいいな！」
 「かわしまぁいいねー」

③スコアレスドローに終わってガッカリ

「試合終了ー 0-0か。。スッキリしねえなあ。。」
 「朝からがっかりワールドカップ見てしまたー！
 引き分けかぁー悔しいねえ」
 「終わった。悲しいのお」
 「だめだー」
 「情けない」

④気持ちを切り替え次の試合を見据える

「ずっと応援してましたちょっと悔しいです。
 まだあります!!!頑張ってください!#」
 「引き分け、お疲れ様でした。次の相手は、コロンビア。
 めちゃくちゃ強い相手だけど、ワールドカップは何が起こるか
 分からないから面白い??全力で応援しますっ」
 「今日一番良かったのは、やっぱり好セーブした川島
 ですかね」
 「結果はどうであれ、とにかく勝ち点1ゲット！ポジティブ、
 ポジティブに！最低でもワールドカップ日本代表の試合
 をもう1試合応援出来るで！」
 「やっぱワールドカップ楽しいな」

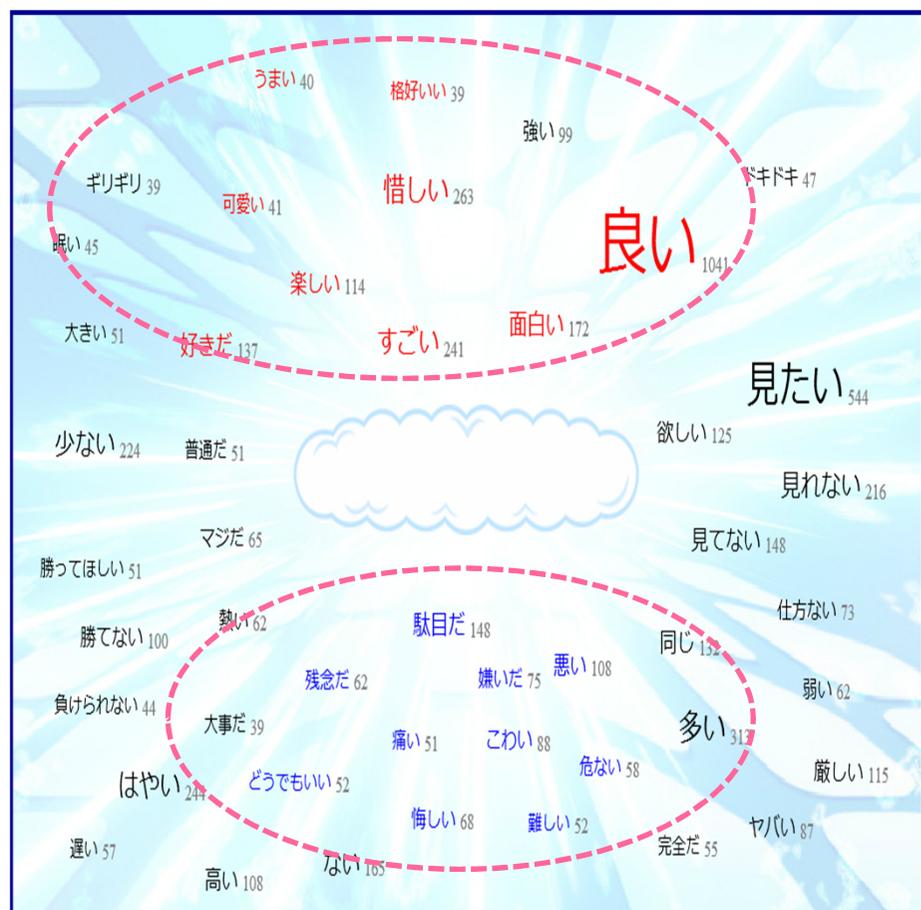
Ⅱ. 全体傾向把握 –ワードクラウド

- ◆ 名詞のワードクラウドを見ると、主な話題としては、『各選手』（「大久保、香川」など）、『試合内容』（「キックオフ、前半、後半、退場、引き分け」など）、『メディア』（「TV、ラジオ」など）、『実生活』（「電車、会社、学校」など）などがあった。
- ◆ 形容詞のワードクラウドを見ると、ポジティブな表現としては「良い、すごい、惜しい、面白い」などがあり、ネガティブな表現としては、「駄目だ、嫌いだ、悪い、残念だ」などがあった。

・名詞

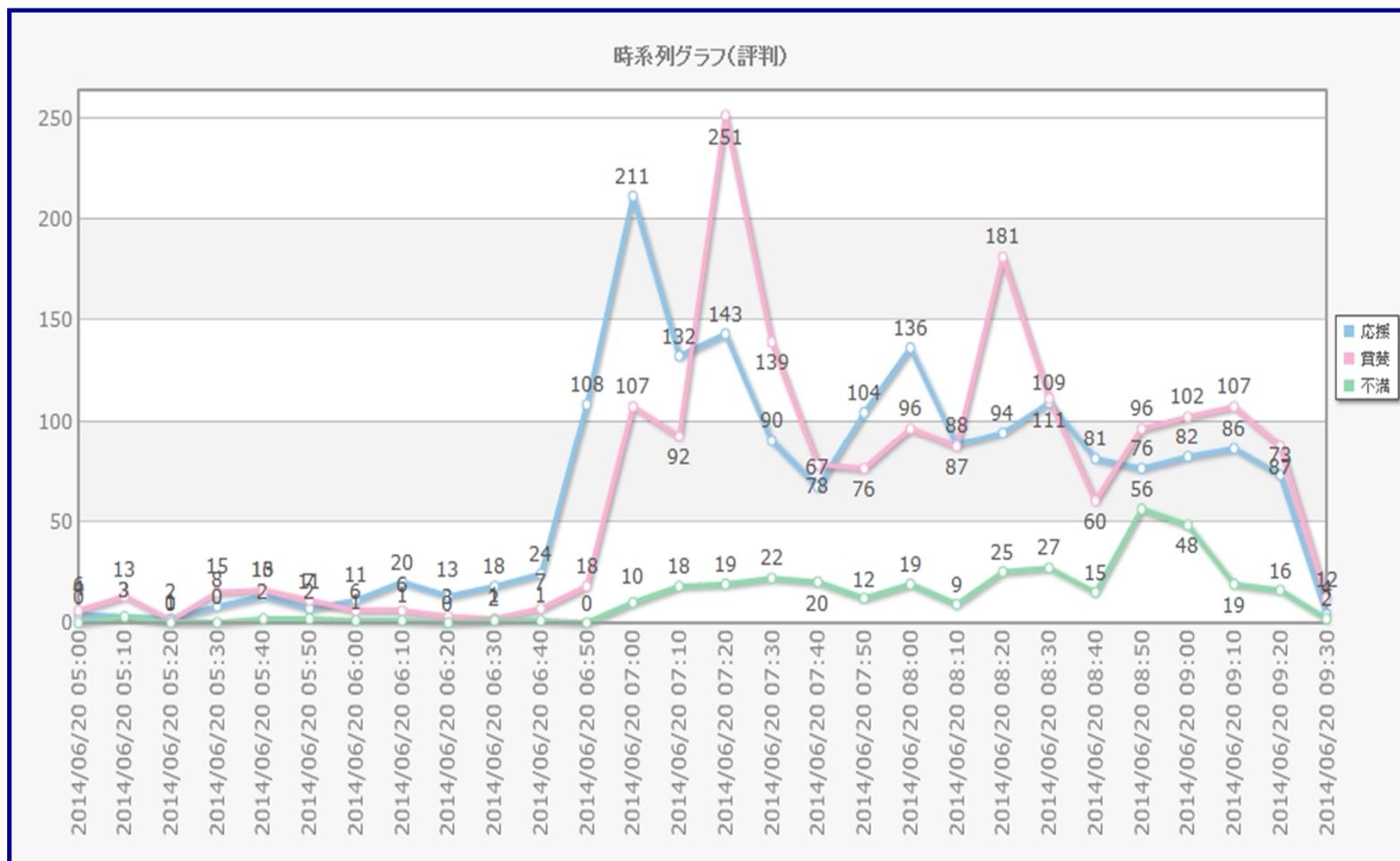


・形容詞



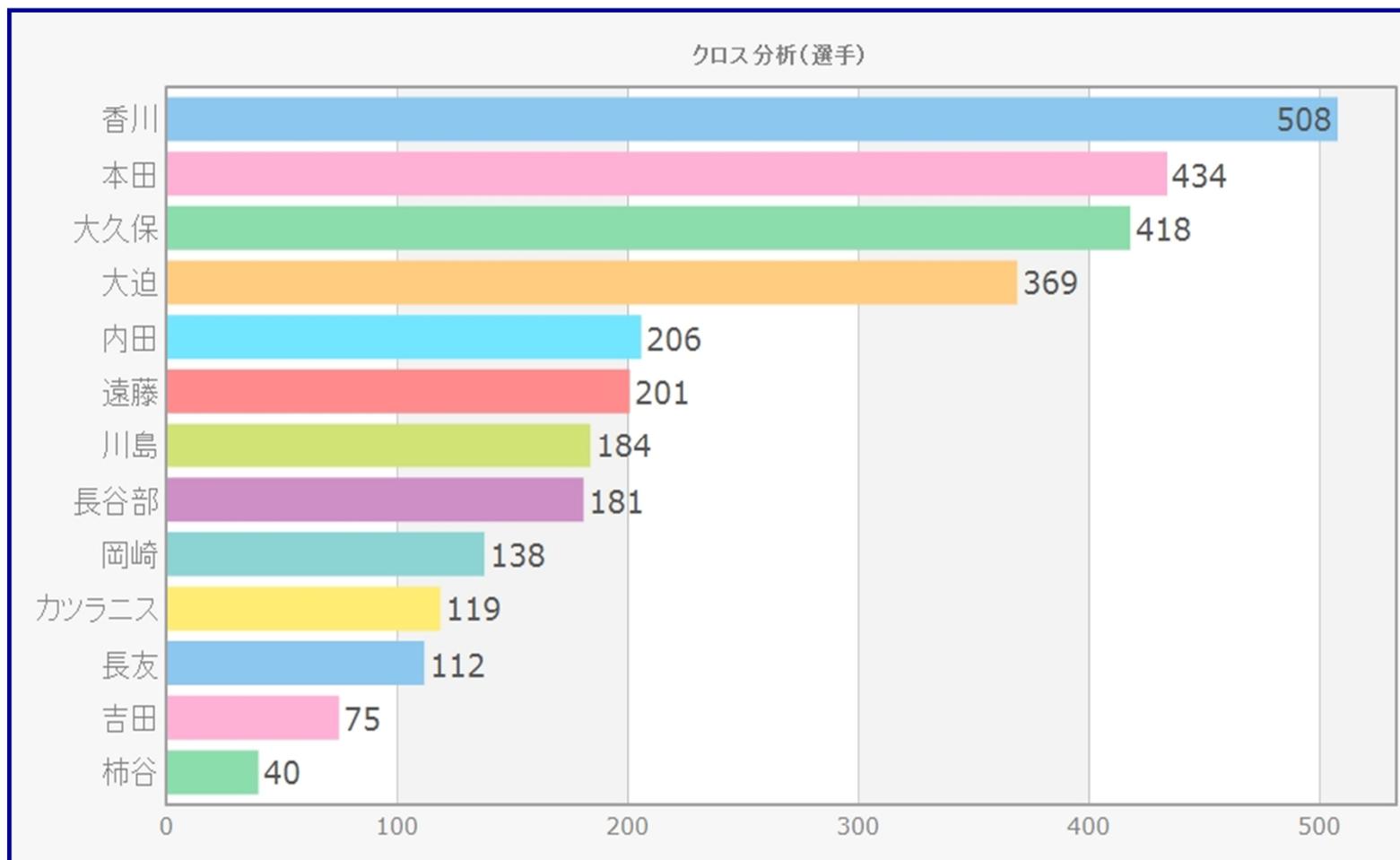
Ⅱ. 全体傾向把握 – ツイート内容の時系列推移

- ◆ 下図は、ツイート内容から「応援」「賞賛」「不満」の3つを定義し、3つの話題の時系列推移を表した図である。
- ◆ 試合開始前後は「応援」が多くを占め、試合が始まると、各プレーに呼応して「賞賛」がツイートされた。「不満」は全体的に少ないが、試合終了後は若干増加している。



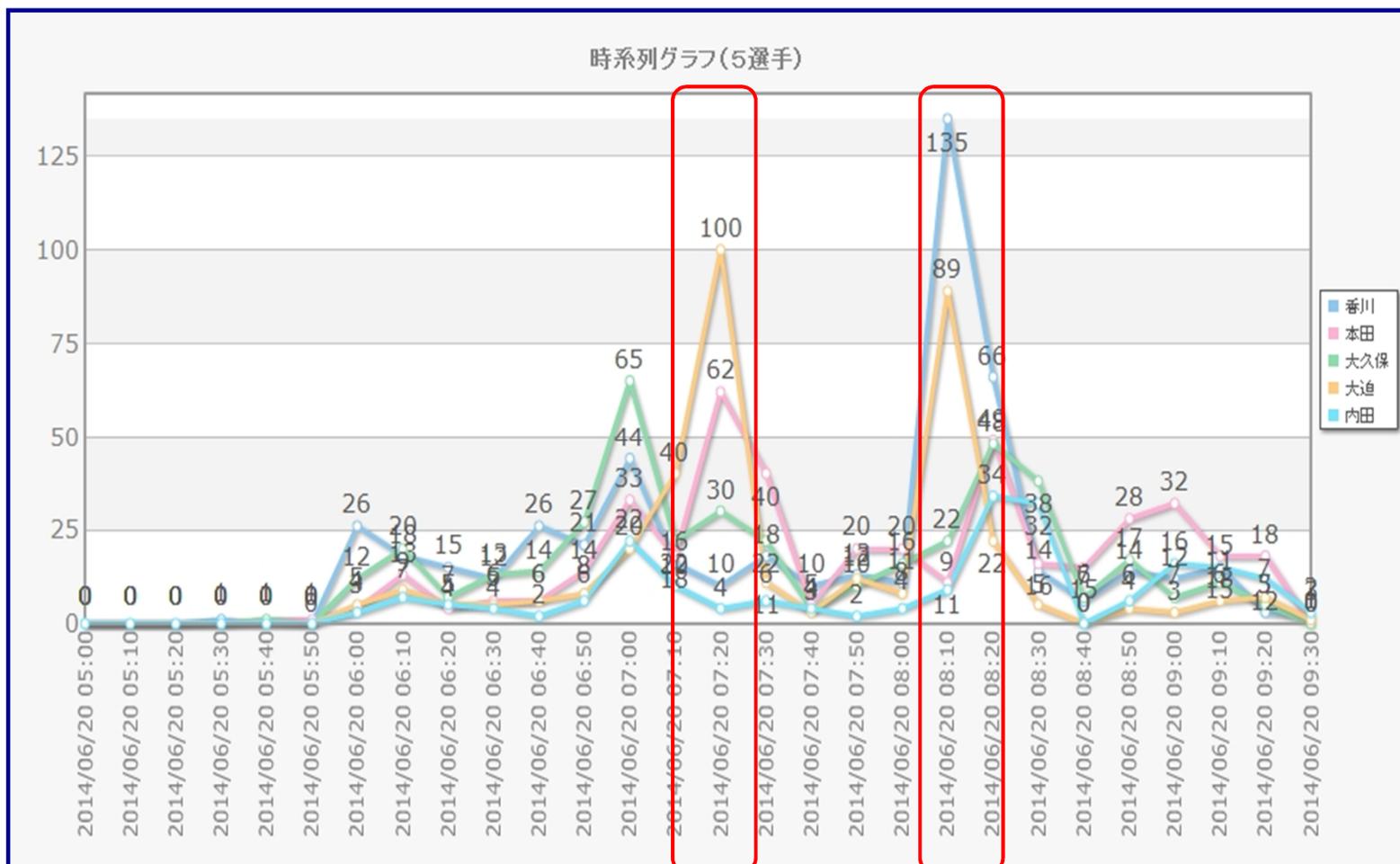
■ Ⅲ. 選手に関する分析 –全体件数

◆ 選手の中では香川選手が最も多くツイートされ、以下本田選手、大久保選手が続いた。また、大迫選手が4位に入った。



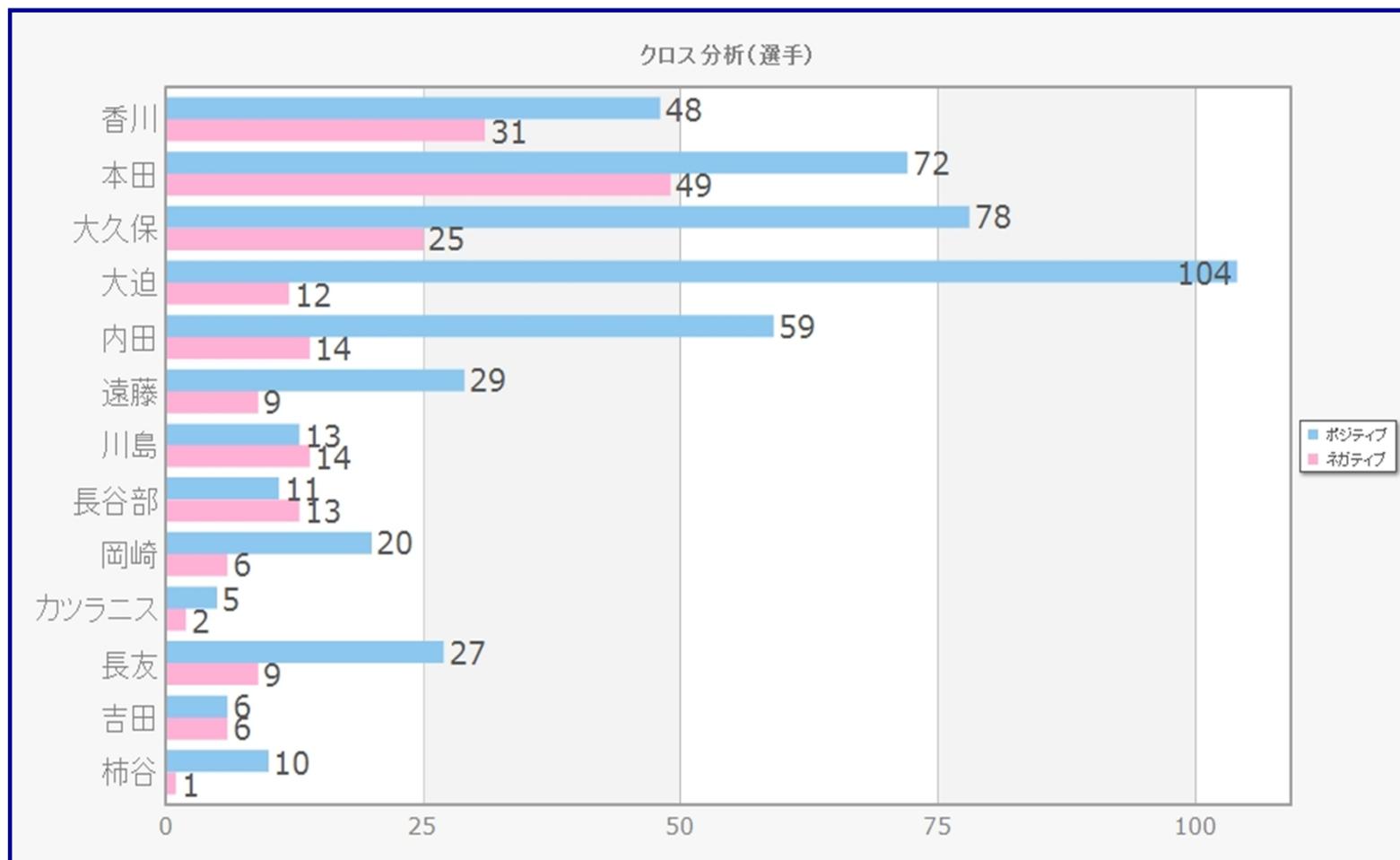
Ⅲ. 選手に関する分析 – 上位5選手の時系列推移

- ◆ 8時10分前後に香川選手に関するツイートがピーク。大迫選手から香川選手に交代したタイミングであり、観客の期待が寄せられたものと思われる。
- ◆ 前半に惜しいシュートを放った大迫選手も、その時間にツイート数が増加している。



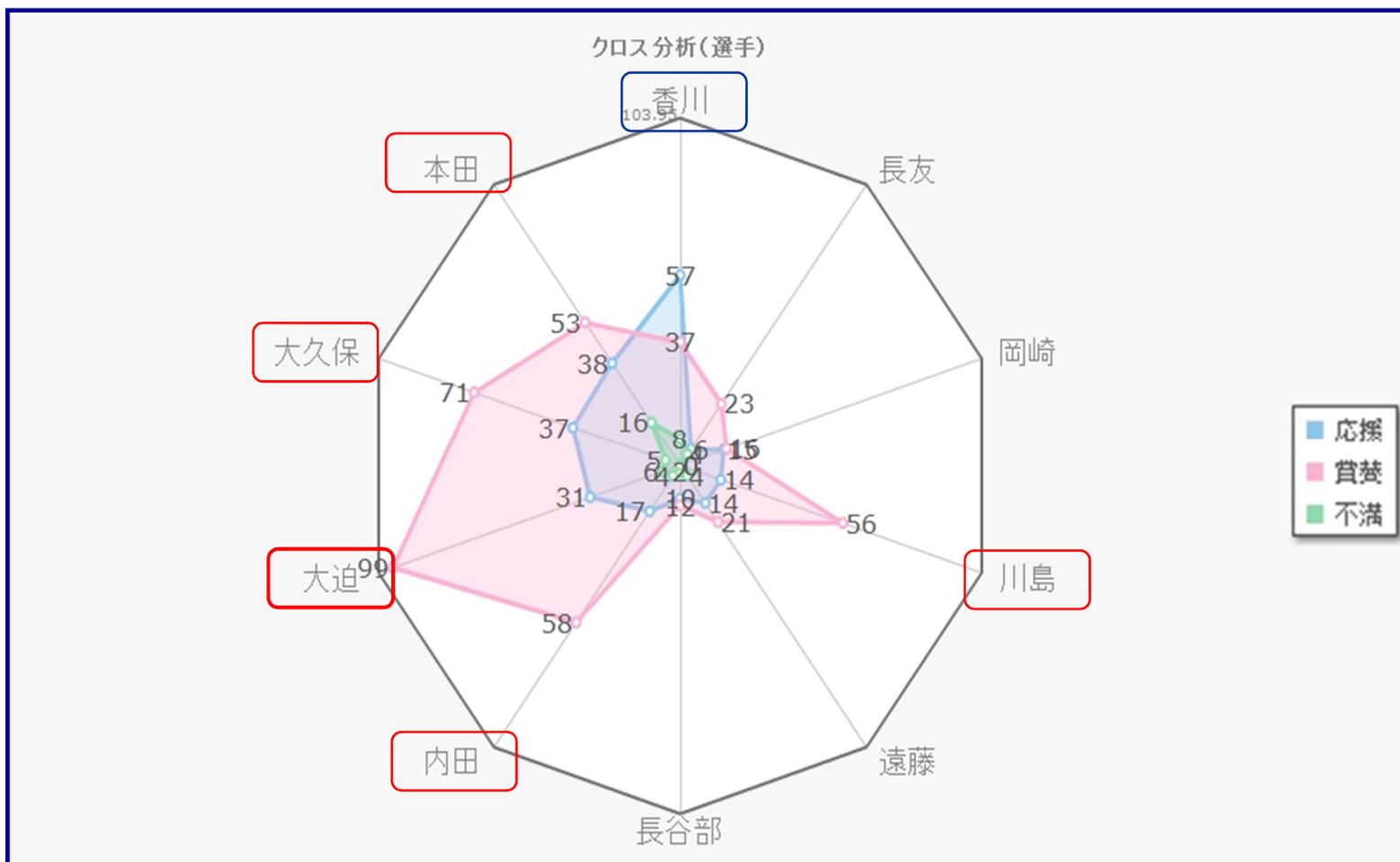
Ⅲ. 選手に関する分析 – 選手別のポジネガ評価

- ◆ 各選手に関するツイート内容をポジネガで見ると、大迫選手が最もポジティブな表現が多く、大久保選手が次に続いた。
- ◆ 本田選手や香川選手は、ポジティブ表現も多かったがネガティブ表現も比較的多かった。



Ⅲ. 選手に関する分析 – 選手別のツイート内容分析

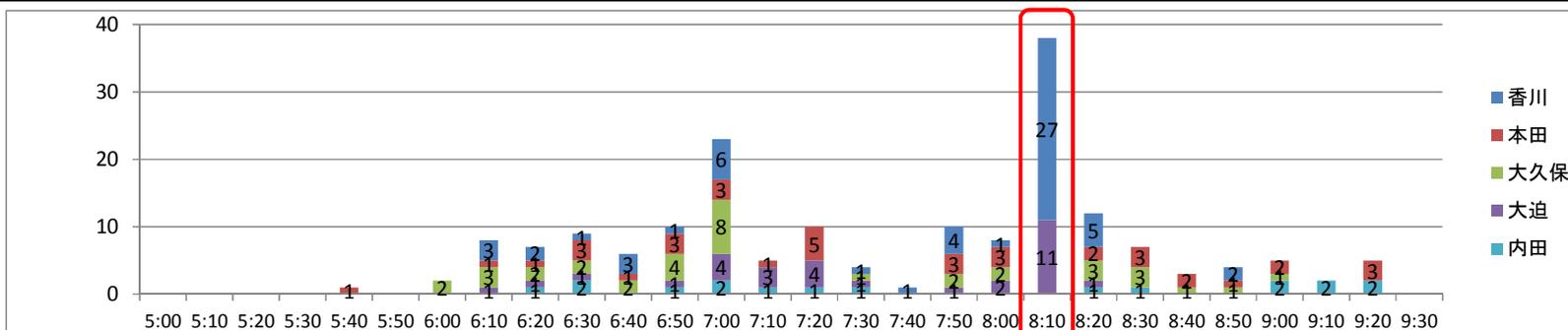
- ◆ 言及の多かった日本人選手上位 10 名について、そのツイート内容を見てみると、「賞賛」は大迫選手が最も多く、以下、大久保、内田、川島、本田の各選手が多かった。
- ◆ 「応援」は香川選手が最も多かった。「不満」は全体的に少ないが、本田選手に対して比較的多く見られた。



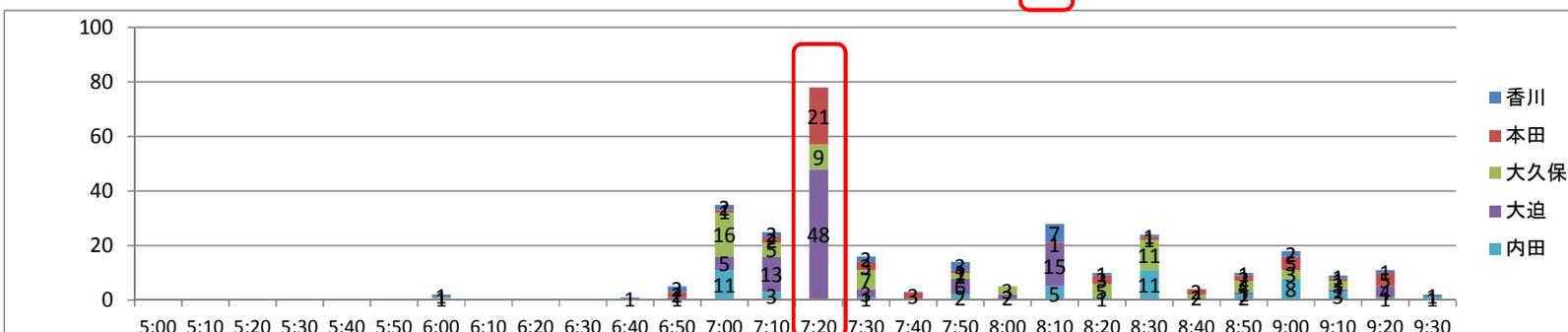
Ⅲ. 選手に関する分析 – ツイート話題内容の選手別時系列推移

- ◆「応援」は8時10分前後が最も多く、香川選手に対してツイートされていた。大迫選手から交代した時間であり、観客の期待が現れている。
- ◆「賞賛」は7時20分前後の大迫選手に対して多かった。また、「不満」は件数は少ないものの、試合中や終了後の本田選手に対して見られた。

● 応援



● 賞賛



● 不満

